令和３年度
苫小牧市図書館協議会定例会（書面会議）
会 議 次 第

１　議　事

⑴　令和２年度事業報告について

・　資料２　定例会議説明資料　１．2020（令和 2）年度　事業報告

⑵　中央図書館の評価と点検について

・　資料２　定例会議説明資料　２．苫小牧市立中央図書館評価と点検について

⑶　令和３年度事業計画について

・　資料２　定例会議説明資料　３．2021（令和 3）年度　事業計画

⑷　中央図書館に係る警察からの照会に対する対応について

・　資料４　中央図書館に係る警察からの照会に対する対応について

２　資　料

⑴　「令和３年度苫小牧市図書館協議会定例会」書面開催の流れ

⑵　会議次第

⑶　報告様式１及び２

⑷　資料１　議事⑴～⑷の説明資料

⑸　資料２　2021（令和３）年度　苫小牧市図書館協議会　定例会議説明資料

⑹　資料３　【参考資料】図書館統計

⑺　資料４　中央図書館に係る警察からの照会に対する対応について

⑻　苫小牧市図書館協議会委員名簿

資料１

令和３年度苫小牧市図書館協議会　説明資料

４月より苫小牧市立中央図書館の館長に就任いたしました富田　歩美です。皆様には日頃より図書館運営に際してご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

学生時代に図書館司書の資格を取り、道内の図書館を６館経験し、昨年度、副館長として着任いたしました。今までの図書館経験を活かし、図書館運営を行っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧市立中央図書館は、２０１９（令和元）年度より「苫小牧市図書館運営計画」（２０１８年度策定）を元に運営してまいりました。この運営計画は、２０１８年７月に策定された「苫小牧市図書館運営方針」の実施計画として位置付けられたものです。２０２０年度は、その２期目に当たります。

２０２０（令和２）年度は、一言で言うと「新型コロナウイルス」だったのではないでしょうか。現在も、感染拡大防止策として、臨時休館を余儀なくされておりますが、この１年、図書館の底力が試される、そんな１年だったと思っております。

それでは、資料２「２０２１（令和３）年度苫小牧図書館協議会定例会議資料」に基づき、「１．２０２０（令和２）年度事業報告」、「２．苫小牧市立中央図書館　評価と点検について」、「３．２０２１（令和３）年度事業計画」についてご説明いたします。

まずは、「１．２０２０（令和２）年度事業報告」です。

「新型コロナウイルス」感染拡大防止策とし、４月末より臨時休館対応になり、４月の開館日数は、１７日間、５月に至っては、５日間しか開館出来ず、その後も、閲覧席、自習室、リラックススペースでの席の間引き、情報サロンの利用制限と、様々な制限が入ってしまいましたが、図書館として今できることを最大限に努力する日々でした。

その中で、顕著だったのが、電子図書館の飛躍です。

外出自粛によりおうち時間が増えた頃の６月３日から図書館システムの利用者番号とパスワードで電子図書館もご利用いただけるよう共通化したことにより利便性が向上いたしました。資料には記載しておりませんが、前年対比年間貸出数３３０．６５％、閲覧数３５３．００％と多くの方々にご利用いただき、なかなか図書館に足を運べない方々にも電子書籍という今までとは違う形で、図書館をご利用いただけたのではと考えております。

また、図書館再開の折には、書籍除菌機のご利用も大幅に増えました。中央図書館では、一般カウンターと児童カウンターの横に１台ずつあり、現在においても、フル稼働しています。お客様にも好評で、このような時にあって良かったというお声を多数いただい

ています。

こうした状況の中で、２０２０（令和２）年度に行った主要な事業についてご説明いたします。

（１）行事・事業実施一覧の No.8、No.22 に記載しておりますが図書館セミナーに関しても５本開催することができ、全てにおいてほぼ定員数になり、コロナ禍中のセミナーへの要望・興味が高いことが伺えました。
その中でも、苫小牧駒澤大学との初の連携講演会は、今後の大学と図書館の連携を図る良い機会になったと考えています。
そして、No.23 の「クリスマス☆フォトブース」は、当初予定しておりませんでしたが、No.24 の中止に伴い代替として実施いたしました。中止・延期だけではなく、今後も何かできることはないか、考えてまいります。

また、（２）共催・展示実施一覧では、このコロナ禍において、いつ事業の中止・延期になるか分からない状況の１年でしたので、パネル展、展示コーナーの設置に注力いたしました。パネル展におきましては、出版社、２社にご協力いただき、写真集・絵本のパネルをお借りしました。ご来館していただいたお客様が少しでも楽しんでいただけるように、微力ながらも工夫を行いました。
ご協力いただいた出版社からは、サイン入り絵本、ノベルティグッズも提供いただき、初企画として、No.29 記載の「今年初めの運だめし！抽選会」を開催し、お客様にも喜んでいただけました。今後も、多方面と連携し事業を展開していきたいと考えております。

次に「２．苫小牧市立中央図書館　評価と点検について」ご説明いたします。
この評価と点検では、「苫小牧市図書館運営計画」で予定した令和２年度の取組について指標達成度を自己評価しております。
冒頭にも記載いたしましたが、令和２年度は１年を通してコロナの影響が色濃く、例年とは大きく違う運営になってしまい、全体的な数値は減少傾向になっています。また、予定していた各種事業、イベントも延期・中止せざるをえないものも発生いたしました。
ただ９月以降は、入館者数・貸出数ともに徐々に上向きに推移しました。また、事業に関しても、感染予防対策をしっかり取り、出来る限り実施するように努力いたしました。
「運営計画１　基礎的な図書館サービスの充実」においては、「１―１資料・情報収集機能の充実」の「電子書籍をはじめとした電子資料の収集」では、９月に、幼児・児童・生徒向けのコンテツを大幅に増やしたことなどにより、利用率も大幅に増えました。
さらにどの世代にも浸透するように、コンテンツの見せ方、PR 方法、そして活用講座等、促進して行き、非来館者、来館困難者、視覚障がい者、ご高齢の方たちへのサービス

メニューの充実も図ってまいります。

「運営計画２　家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化」の「２－２　地域の結びつきの再生に向けた支援」に関しては、２０１９年度は実施出来なかった個人、団体ボランティアとの意見交換会、研修、養成講座等を２０２０年度は実施できました。様々なご意見をいただきましたので、今後の館運営に生かしてまいります。
また、「HP 上のレファレンス受付フォームの設置」は、リニューアルした HP に追加機能として設置いたしました。これにより電話、対面ではなく人と接することが苦手なお客様にも気兼ねなくレファレンスを提供することができ、新たなる利用者の獲得、図書館の基幹業務であるレファレンスの強化にも繋がっていくように、周知を図っていきます。

「運営計画３　教育的役割を重視した取組の推進」では、前半はコロナの影響により実施出来ないものが多くありましたが、後半にかけ、「３－１　子どもの読書活動の推進」の「図書館セミナー（児童）の開催」では、１０月絵本作家三浦太郎氏を招き、講演会を開催いたしました。収容人数半数という制限も入りましたが、申込み多数で即時定員に達し、大好評でした。他の事業に関しても、コロナ禍において可能な限りの実施をいたしました。

最後になりますが「運営計画４　魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築」の「４－２職員の知識・技術・能力の育成と継承」におきましては、やはり前半は開催の見送りがほとんどでしたが、７月「認知症サポート養成講座」８月「図書館建築から見る図書館サービス研修」を実施できました。また、web 研修において、現在のスタッフに必要な内容の研修を受講でき、スタッフの育成に努めました。今後も積極的に web 研修を取り入れつつ、スタッフの育成に努めてまいります。

総合評価にも記載いたしましたが、お客様からご要望をいただいていました、懸案事項であった「トイレのウォシュレット化」「講堂の床カーペット張替」環境整備が出来ました。現在、リラックススペースのリニューアルを徐々に進めております。今後も、お客様が快適にご利用いただける空間作りを心がけてまいります。

次に、「３．２０２１（令和３）年度事業計画」についてご説明いたします。
「（１）単年度実施計画（概要）」は「図書館運営計画」に記載されている令和３年度の実施計画を載せております。それを踏まえ、「（２）２０２１（令和３）年度事業一覧」で令和３年度に行う具体的な事業を記載しています。
２０２１（令和３）年度は新型コロナウイルス対策のため、２０１９年度・２０２０年度と延期になった事業を行うとともに、２０２１（令和３）年度重点施策としては、「YA

図書館交流事業」「子育て支援事業」「交流の場創出事業」「医療サービス支援事業」「ビジネス支援事業」「セカンドライフ支援事業」「SNS での情報発信事業」を上げております。

「子育て支援事業」に関しましては、５月より毎週木曜日の１０時～１２時まで、館内にオルゴールを流し、子育て中のご家族が気兼ねなくご利用いただける「こそだて time」を実施しています。またその時間に、ご利用いただける絵本の一場面のラグマットを製作いたしました。今後、PR 活動を積極的に行っていきます。

「SNS での情報発信事業」も、４月より SNS のツール「Twitter」を活用し、図書館の情報発信に努めております。この二か月緩急剛柔を織り交ぜ発信しており、若い世代にも浸透し始めているのを実感しています。この１年、あらゆる世代に便利だと思っていただけるコンテンツに成長できるように、努力してまいります。

「医療サービス支援事業」「ビジネス支援事業」おいては、医療情報のコーナー、ビジネス情報のコーナーを増設し、情報を求めている方々に、定期的に内容を替え、情報提供していきます。

そして、読書推進事業の新規事業の目玉として「ひとはこ図書館」を年代ごとに「５歳～小学生」「中学生～高校生」「一般」と３回開催いたします。箱を図書館に見立て、館長になっていただき、テーマ作成、本を選び、装飾、POP 製作を行う予定です。一般の方々にもさらに図書館に親しみを持っていただこうと思い企画しています。

また、今年度は、既存の「ミニシアター」に「シネママラソン」を新規で追加して実施いたします。一般・子ども向けに、図書館開館中に映画を連続で上映し、朝から晩まで映画を楽しんでいただき、図書館で１日過ごせる事業にと考えております。

なお、10 月と２月に実施したアンケート結果と新聞記事から抜粋した事業紹介を資料２の別紙として、2020 年度の図書館統計を別紙３として添付させていただきました。事業報告や評価と点検に関する参考資料としてご参照ください。

２０２１年度、新しい年度になった矢先に、現在、急遽、緊急事態宣言を受け、臨時休館になってしまいました。一昨年度、昨年度と多くの事業に関して、中止、延期が発生していますので、今年度は縮小でも開催していきたいという思いがございますが、今後の情勢により変更も余儀なくされる可能性もあることを念頭に置いて、運営してまいります。ただ今回の臨時休館においては、電子図書館のパスワード忘れの方々には電話で対応するという期間限定のサービスを行い、私たちはコロナ禍でも歩みを止めてはいません。

また、今年度は、市立中央図書館開館７０周年を迎えます。
図書館として、現在様々な記念事業を企画中です。市民の皆様と一緒に、アニバーサリーイヤーを盛り上げていきたいと思いを巡らしております。

今後も、市内各団体、関係施設との連携を深め、図書館サービスの基幹である「貸出」「レファレンス」「収集・保存」を行いつつ、全ての年齢層の方々が快適にご利用いただけるようなお客様サービスを努めてまいります。

苫小牧市立中央図書館
（指定管理者　TRC 苫小牧グループ）
館長　富田　歩美

引き続き、教育委員会生涯学習課より資料４「中央図書館に係る警察からの照会に対する対応」について、ご説明させていただきます。

まず、「１　基準の策定に至った経緯」についてですが、平成２９年に苫小牧警察署（以下「警察」という。）から刑事訴訟法に基づく捜査関係事項照会書が図書館に提出されました。文部科学省に法律上の問題がないことなどを確認した上で、教育委員会（以下「市教委」という。）内部で協議した結果、照会に応じても問題がないと判断したことから、警察へ図書館利用者の利用状況に係る情報提供を行いました。その後、平成３０年に本市の予算委員会等での議論や市民からの不安の声、市民団体から要望書の提出等があったことから、平成３１年２月１２日に図書館協議会（以下「協議会」という。）委員の皆様のご意見をお聞かせいただきました。委員の皆様からは、提供する情報の内容をあらかじめ決めた上で、捜査協力に応じてもいいのではないかといったご意見を多くいただいたことから、資料４－１のとおり図書館を利用した事実に基づく１５項目について、情報提供に応じる案を令和元年４月２３日に協議会委員の皆様にお示しさせていただきました。委員の皆様からは、前回の協議会で出された意見も踏まえた案となっているのでいいのではないかという意見を多くいただいたことから、委員の皆様の意見も踏まえ、基準として決定させていただき、図書館のホームページに掲載させていただいております。

次に、「２　その後の経過」と「３から５までの主な質疑」、「資料４－２　札幌弁護士会からの意見書」についてですが、
・国立国会図書館は、利用履歴について令状がなければ警察からの情報提供に応じない
・札幌弁護士会は、公立図書館に対して令状を伴わない情報提供に応じないよう求める

上記、２点の動きを踏まえ、令和３年３月の苫小牧市一般会計予算審査特別委員会で市教育として、現行の基準を継続するのではなく、国立国会図書館と同様に令状がなければ情報提供に応じない方向で考えていきたいと答弁させていただきました。その後、北海道議会定例会でも質疑が行われており、北海道教育委員会としては、刑事訴訟法に基づく照会に対して回答することは可能だが、原則として令状に基づき対応するものとの考えが示されております。

以上を踏まえ、「７　今後の市教委の対応に関する図書館協議会委員の皆様の考え方」について、市教委といたしましては、「⑴国や北海道と同じく、任意協力である捜査関係事項照会書ではなく、裁判所が発布する令状を確認した上で情報提供に応じる」ように、運用方法を変更したいと考えております。このことについて、委員皆様のご意見をお聞かせいただければと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧市教育委員会生涯学習課
主幹　藤原　誠

指定管理者TRC苫小牧グループ

２０２１（令和３）年度　苫小牧市図書館協議会　定例会議説明資料

1．2020（令和2）年度　事業報告

（1）　行事・事業実施一覧

No.	事業名	新規	開催日	対象	参加者数	（前年参考値）	内容／共催・後援等
1	赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば		年度内　6回	乳幼児 保護者	10組　47人	97組　196人	乳幼児/保護者向けの読み聞かせ、絵本紹介 協力｜図書館ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ
2	おはなし会（定期）		年度内　6回	乳幼児 保護者	54人	152人	図書館スタッフによる読み聞かせ
3	よみきかせまっぷ配布		通年	一般・児童	―	―	市内で定期開催される読み聞かせイベントを網羅的に掲載したマップの配布。
4	外国語版利用案内の配布（英語）		通年	一般	―	―	多文化サービスの一環としての配布。
5	みんなで楽しく子育てタイム	○	延期	一般・児童	―	―	新型コロナウイルス感染拡大に伴い次年度へ延期
6	ぶっくのーと配布事業		4月1日～ 10月1日～	児童	既配布500冊 既配布300冊	既配布500冊 既配布500冊	読書習慣定着に向けた読書手帳の配布事業
7	子どもの読書週間事業						子どもの読書週間（4/23-5/12）記念行事
	（一日司書		中止	児童	―	10人	一般公募による児童向けの職場体験事業。新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
	（おはなし広場		中止	児童	―	20人	協力団体による児童向けおはなし会。新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
8	図書館文化セミナー事業		年度内３回				一般対象の文化講演／講座事業
	（児童文化セミナー 「太郎さんがきました」		10月18日	児童・一般	40人	82人	講師｜三浦太郎氏（絵本作家） 共催｜苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会
	（一般文化セミナー 「浦島伝説　その魅惑の世界を語る」		6月13日	一般	30人	56人	講師｜林晃平氏 （元苫小牧駒澤大学客員教授）
	（一般文化セミナー 「海外の図書館事情　～北欧の図書館とその建物～」		8月29日	一般	30人	―	講師｜植松貞夫氏　（筑波大学名誉教授）
	（郷土セミナー 「むかわ竜を学ぼう」		9月12日	児童・一般	27人	32人	講師｜櫻井和彦氏 （むかわ町穂別博物館館長）
9	苫小牧アートフェスティバル事業						「苫小牧アートフェスティバル実行委員会」企画による出光カルチャーパークを中心とするアートイベント※新型コロナウイルス対策のため中止。
	（クレヨンで図書館の窓に 絵を描こう♪		8月1日	児童	14人	7人	アートフェスティバル中止にともない単独事業として「１日司書体験」の際に実施。小学生・中学生を対象に１階児童コーナーの窓に専用クレヨンで季節に合わせた絵を描いてもらう来館誘導イベント
	（ストリーテリングと ギターの夕べ		中止	―	―	67人	サンガーデン池ステージを会場とした朗読、及びギター演奏
	（本のばくりっこ市		8月2日	一般	147人 1,031冊	110人 1,064冊	アートフェスティバル中止に伴い単独事業として実施。参加者間の交換、図書館不要資料の有効活用 協力｜図書館ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ団体
	（言葉でつむぐ アフタヌーン朗読会		中止	―	―	79人	大人のための朗読会

資料２

No.	事業名	新規	開催日	対象	参加者数	（前年参考値）	内容／共催・後援等
10	苫教研学校図書館教育研究部会連携事業						学校図書委員交流会の一環として開催
	（１日司書体験（夏）		8月1日	児童	14人	15人	小中学校の図書委員を対象とした1日司書体験 共催｜苫教研学校図書館教育研究部会
	（１日司書体験（秋）		11月7日	児童	14人	15人	
11	平和祈念旬間行事						終戦記念日に合わせた平和学習行事
	（戦争・平和関連資料展示		8月	児童・一般	—	—	
	（平和祈念アニメ上映会		8月12日	児童	3人	10人	アニメ作品「ぼくの防空壕」の上映
12	読書週間行事						読書週間（10/27-11/9）記念行事
	（絵本作家 accototoさん 絵本原画展		1/5 ～1/22	児童・一般	—	—	新型コロナウイルス感染拡大に伴い延期して実施。絵本「そんなにみないでくださいな」原画展示 協力｜accototo（絵本作家）
	（大人向けおはなし会 「おはなし玉手箱」		中止	一般	—	56人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。ボランティア団体と協力して行う一般対象のお話し会
13	読書感想文・感想画ｺﾝｸｰﾙ事業						優秀作品の選考／表彰／展示 共催｜苫教研学校図書館教育研究部会
	（夏休み読書感想文ｺﾝｸｰﾙ		7月作品募集	児童	応募数133点	応募数265点	入選 53点 表彰式 新型コロナウイルス対策のため中止。
	（夏休み読書感想画ｺﾝｸｰﾙ		7月作品募集	児童	応募数31点	応募数44点	入選 25点 表彰式　新型コロナウイルス対策のため中止。 作品展示10/31-11/8
	（冬休み読書感想文ｺﾝｸｰﾙ		1月作品募集	児童	応募数112点	応募数166点	入選34点 表彰式 3月6日（3月に夏・冬作品集発行）
14	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ向け研修等機会の提供						市内ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ対象
	（ボランティア養成講座		3月5日	一般	10人	4人	図書館ボランティア活動希望者を対象とした活動導入研修会
	（朗読研修会		10月9日	一般	22人	15人	音訳、対面朗読に協力いただいている朗読ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱに対する専門講師による実践指導 講師｜田中隆子氏（札幌市・朗読団体代表） 対象｜苫小牧市朗読赤十字奉仕団　団員
	（学校図書館ボランティア研修会 （修理講習会　実践編）		中止	一般	—	16人	市内小中学校で活動するﾎﾞﾗﾝﾃｨｱを対象とする本の修理講座 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
	（フロアワーク研修会 （OPAC編）	○	11月27日	一般	5人	—	個人（ﾌﾛｱﾜｰｸ）ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ対象とした研修会。
	（ボランティア意見交換会 （団体）		2月25日	一般	8人	13人	ボランティア団体対象の意見交換会。活動上の疑問集約、活動方針の共有など。
	（ボランティア意見交換会 （個人）		2月18日	一般	3人	—	個人（ﾌﾛｱﾜｰｸ）ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ対象の意見交換会。活動上の疑問集約、活動方針の共有・研修など。
15	苫小牧市 図書館を使った調べる学習コンクール事業						小学生対象の調べる学習コンクール。優秀作の選出／表彰、及び展示。
	（第6回苫小牧市 図書館を使った調べる学習コンクール		9/1～ 9/29募集	児童	10作品	33作品	入選　9作品 後援｜苫小牧市教育委員会 協力｜苫小牧市科学センター
	（調べものﾏｽﾀｰになろう！		—	児童	—	16人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い講座は中止し、パスファインダーを作成し配布。児童を対象とする自由研究、図書館を使った調べる学習コンクール向け講習。
	（図書館を使った調べる学習コンクール　表彰式		中止	児童	—	19人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。 共催｜苫教研学校図書館教育研究部会

No.	事業名	新規	開催日	対象	参加者数	（前年参考値）	内容／共催・後援等
16	（青空子どもとしょかん		8月8日	児童	120人	140人	野外でのお話会事業 協力｜図書館ボランティア
17	転籍本配布		8/7～8/10	関係団体	543冊	558冊	保育園、小学校など13団体へ配布
18	Natsu☆ＧＡＣＨＡ （ｶﾌﾟｾﾙﾄｲによる読書推進事業）		8/7～8/16	児童	のべ　47人	のべ　564人	カプセルトイを使った児童向けの読書推進事業
19	図書館交換展示「愛知県豊田市」		8/29～9/24	一般	―	―	協力｜愛知県豊田市中央図書館 ※2019年度、青森県八戸市図書情報センター
20	バリアフリー上映会		9月26日	一般	9人	21人	視覚、聴覚障がい者向けの映画上映会 「天国からのエール」 協力｜住友商事
21	レッツ☆トライ　本の修理	○	11月6日	一般	3人	―	図書館スタッフが講師となり実施した、「本の修理」のワークショップ
22	苫小牧駒澤大学　特任教授 高澤秀次先生　講演会	○	11月7日	一般	25人	―	講師｜高澤秀次氏（苫小牧駒澤大学特任教授） 共催　｜苫小牧駒澤大学
23	クリスマス☆フォトブース	○	11月28日～ 12月24日	児童	50人	―	クリスマス仕様のフォトブースを設置し、自由に写真撮影。12月20日サンタに扮したスタッフがお出迎え。
24	ぬいぐるみのクリスマスおとまり会		中止	児童	―	20人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
25	大人の社会科見学 ～図書館探検ツアー～		12月12日	一般	7人	―	図書館見学＆利用ガイダンスツアー。昨年度コロナ対策の為、延期した事業。
26	本の手帖2021		1月5日～	一般	既配布500冊	既配布500冊	貸出レシート貼付形式の読書手帳の配布
27	初笑い福袋		1月5日～	児童	30セット	40セット	各テーマにあわせた絵本のセット貸出
28	市民のための医学講座 第5回		中止	一般	―	65人	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
29	原画展記念企画「今年初めの運だめし！」抽選会	○	1/12 ～1/22	児童・一般	118名応募	―	絵本作家accototoさんサイン絵本等ノベルティの抽選会
30	雑誌リサイクル市（前年度延期分）		7月5日	一般	274人・1401冊	―	前年度延期分の雑誌を無償配布
31	雑誌リサイクル市		3月27日	一般	199人・1200冊	―	除籍雑誌の市民への無償配布
32	ビブリオバトル		延期	児童・一般	―	―	新型コロナウイルス対応のため次年度へ再延期
33	ＹＡ世代交流事業		延期	一般	―	―	新型コロナウイルス対応のため次年度へ再延期
34	ICT&ｿｰｼｬﾙﾒﾃﾞｨｱ活用講座 「はじめてのiPad」		次年度へ延期	一般	―	―	新型コロナウイルス対応のため次年度へ再延期 初心者向けiPad操作とｿｰｼｬﾙﾒﾃﾞｨｱについての講座 講師｜ICTコンシェルジュ（自館）
35	図書館ミニシアター		年度内　41回	児童・一般	316人	800人 （44回開催）	上映許諾資料の無料上映会／対象別に隔週開催　※4月～6月は新型コロナウィルス感染拡大に伴い中止
36	図書館ナイトミニシアター		年度内　21回	児童・一般	45人	160人 （22回開催）	月2回夜間に行う上映許諾資料の無料上映会。※4/22、5月は新型コロナウィルス感染拡大に伴い中止
37	パスファインダー 「自分史（一般）」 「薬（児童）」		3月31日～	児童・一般	―	―	課題解決のための糸口としてパスファインダーを作成・配布
				延べ参加者数計	3,299人	4,807人	

（２）共催展示実施一覧

No.	展示タイトル	実施期間等	共催団体名	区分
1	ライトイットアップブルー展示	3月31日～4月23日	北海道自閉症協会苫小牧分会（あじさいの会）	継続
2	令和2年度教科書展示	6月12日～6月28日	学校教育課	継続
3	食育月間展示	5月30日～6月35日	苫小牧市健康支援課	新規
4	縄文文化展示（北の縄文パネル展示）	8月18日～8月26日	胆振総合振興局保健環境部環境生活課	継続
5	「認知症　フレンドリー図書館」	9月19日～9月30日	苫小牧市介護福祉課	継続
6	苫小牧地区小・中学校学級新聞コンクール	新型コロナウイルス感染拡大のためコンクールが中止。	苫小牧民報社	継続
7	動物愛護週間	10月1日～10月13日	胆振総合振興局保健環境部環境生活課	新規
8	小・中学生俳句入賞作品展	12月22日～1月17日	苫小牧俳句協会	継続
9	苫小牧川柳社作品展	1月20日～1月31日	苫小牧川柳社	継続
10	ネコパネル展	2月1日～2月28日	苫小牧保護猫ボランティアグループ「ねこのかくれざと」・河出書房新社	新規
11	絵本『おててだあれ？』パネル展	2月7日～2月25日	KADOKAWA	新規
12	絵本『あなたのことがだいすき』パネル展	3月2日～3月25日	KADOKAWA	新規
13	道新　ぶんぶんぬり絵展示	2月27日～2月28日	北海道新聞社	継続

（３）　利用統計（主要サービス統計）

項目名	2019（平成31・令和元）年度	2020（令和2）年度	前年比
入館者数	289,560人	230,092人	79.46%
利用人数	84,973人	71,714人	84.40%
個人貸出点数	382,563点	342,410点	89.50%
団体貸出点数	25,349点	23,447点	92.50%
予約件数	77,751件	73,346件	94.33%
登録者数	1,259人	950人	75.46%
情報サロン利用件数	14,750件	10,532件	71.40%
レファレンス件数	7,370件	4,677件	63.46%

（４）2020年10月実施　利用者アンケート結果（別紙のとおり）

実施期間　　２０２０年１０月１７日（土）～１０月３１日（土）

実施方法　　カウンター利用者に用紙配布し、館内設置の回収箱にて回収

配布枚数　　５００枚

有効回答数　　４１３枚（回答率８２．６％）

満足度　　９５．０８％（前年度９５．７４％）

（５）2021年2月実施　サービスアンケート結果（別紙のとおり）

実施期間　　２０２１年２月１６日（火）～２月２８日（日）

実施方法　　カウンター利用者に用紙配布し、館内設置の回収箱にて回収

配布枚数　　５００枚

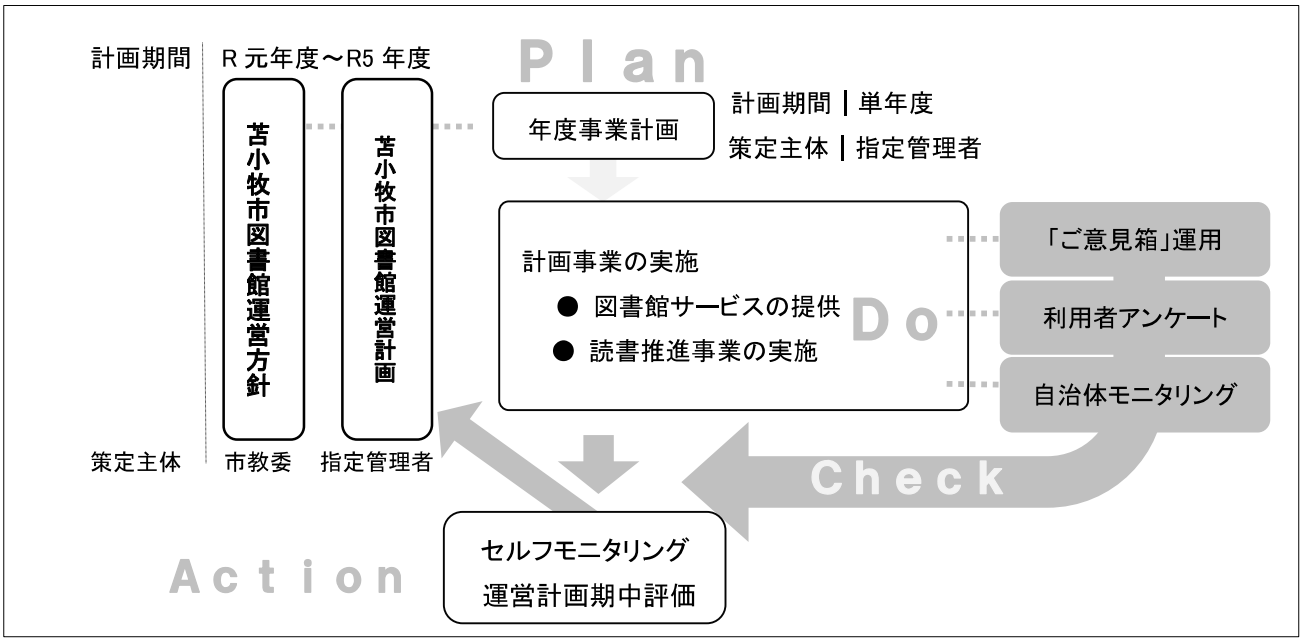
有効回答数　　３５６枚（回答率７１．２％）

２．苫小牧市立中央図書館 評価と点検について

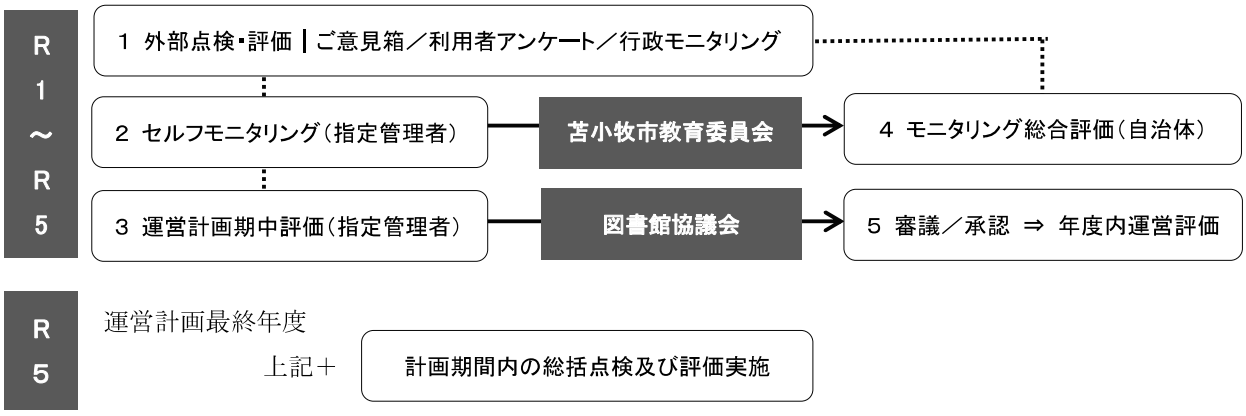
苫小牧市立中央図書館
指定管理者　TRC 苫小牧グループ

【 参 考 】
「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（ 平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号 ）
第二ー一ー1ー(二)運営の状況に関する点検及び評価等
1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の　向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

１．運営のフレーム



２．点検・評価の実施方法について



資料２

苫小牧市立中央図書館　図書館運営計画　期中評価（令和2年度）

苫小牧市図書館運営計画で予定した令和２年度の取組について、指標達成度を自己評価します。

	No.	目標内容
図書館運営計画	1	基礎的な図書館サービスの充実
	2	家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化
	3	教育的役割を重視した取組の推進
	4	魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

運営計画1　基礎的な図書館サービスの充実

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
1-1 資料・情報収集機能の充実	収集基準に基づいた資料収集	○	適時収集	
	特徴ある資料（大活字・洋書・ほか）の継続収集と充実	○	〃	
	郷土・行政資料の継続収集	○	郷土・行政資料蔵書冊数36,076冊	
	電子書籍をはじめとした電子資料の収集	○	9月に幼児・児童・生徒向けコンテンツを大幅増。	
1-2 資料・情報提供機能の充実	参考郷土資料室の活用と周知	○	随時	
	レファレンスサービスの周知と充実	○	レファレンスサービス受付件数 4,677件	
	電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知	○	随時	
1-3 資料・情報保存機能の充実	資料の適切な管理と保存	○	随時	
	TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用	○	随時	
	電子書籍による地域資料の作成と活用	○	随時。デジタル化点数（累計）10,175点	
1-4 図書館という空間の魅力向上	利用ニーズの把握及び運営への反映	○	サービスアンケート・ご意見箱投書ほかで随時対応	
	乳幼児・保護者のための環境整備	―	★子育て世代への利用配慮の欄参照	
	障がい者のための環境整備	○	電子図書館テキスト版（視覚障がい者向け）運用中	
	高齢者のための環境整備	○	適時	
	フリースペースとしてのリラックススペースの活用	○	窓側テーブルに仕切板設置など	
	外国語版利用案内の配布	○	随時配布	
	★リラックススペースの改修・活用	未	新型コロナ対応のため延期	次年度
	★子育て世代への利用配慮	未	新型コロナ対応のため延期	次年度

運営計画1における成果指標	指標算出方法	基準値（H29	目標値（R2）	当年実績	達成率
郷土行政資料の蔵書冊数	―	33,938冊	34,363冊	36,076冊	104.99%
郷土行政資料のデジタル化点数	―	9,797点	10,058点	10,175点	101.16%

自己評価

年度を通じて新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各数値ともに大きく減少いたしました。重点項目として「リラックススペースの改修・活用」「子育て世代への利用配慮」を挙げていましたが、来館を促すようなイベント、３密を誘因するような行事などは自粛せざるをえず「子育てタイム」などの企画は次年度への再延期といたしました。「リラックススペース」についても新型コロナ対策として間引きした椅子ほかの保管場所としたため延期といたしました。成果指標としてあげておりました郷土資料のデジタル化、蔵書冊数については着実に作業進行を行い、いずれも目標を達成できました。

運営計画　２　家庭生活及び職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
2-1 課題解決の支援	レファレンスサービスの周知と充実（再掲）	○	レファレンスサービス受付件数 4,677件（再掲）	
	ICTを用いた情報入手の周知	○	適時実施	
	パスファインダーの作成・配布	○	「自分史（一般）」「薬（児童）」	3月
	レファレンス技能の向上	○	各種研修会への参加	
	ICT活用講座の継続開講	未	新型コロナウイルス対応のため延期	次年度へ延期
	時節に合わせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）	○	適時実施	
	他市との交換展示	○	豊田市（愛知県）	
	★ＨＰ上レファレンス受付フォームの設置	○	３月完成	
	★自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布	○	３月配布	
2-2 地域の結びつきの再生に向けた支援	市民協働、外部連携の促進	○	適時実施	
	市民ボランティア団体との促進	○	適時実施	
	ボランティア養成講座の開催	○	適時実施	
	既存ボランティアの活動支援	○	適時実施	
	図書館文化ｾﾐﾅｰ（郷土）開催	○	「むかわ竜を学ぼう」9/12開催	参加27人
	市民協働事業の推進	○	随時実施	
	★ボードゲーム活用による交流の場の創出	未	新型コロナウイルス対応のため延期	次年度へ延期

運営計画2における成果指標	指標算出方法	基準値（H29）	目標値（R2）	当年実績	達成率
レファレンス受付件数	―	7,362件	7,417件	4,677件	63.06%

自己評価

成果指標として挙げている「レファレンス受付件数」は、新型コロナウイルスの影響（臨時休館および館内での滞在時間制限、来館者の自粛など）を受け目標達成できませんでした。非来館者サービスの一環として進めていたレファレンス専用の受付フォーム設置は、年度内に完成いたしました。本格運用は次年度以降となりますが、レファレンス件数増などに寄与できるものと考えております。既存ボランティアの活動支援については、例年実施していた「おはなし玉手箱」がコロナの感染拡大を受け中止となりました。しかしながら昨年度コロナの影響により実施できなかった個人、団体ボランティアとの意見交換会、研修、養成講座などは実施できました。今後のステップアップに繋がるかと思います。

運営計画　３　教育的役割を重視した取組の推進

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
3-1 子どもの読書活動の推進	乳幼児コーナーの充実	○	スタッフによるおはなし会　6回　延べ参加者数54人	4回中止
	「赤ちゃん絵本とびら」事業への協力と連携	○	随時実施	
	「赤ちゃんと楽しむ絵本広場」の開催	○	6回　延べ参加者数47人	4回中止
	読書への関心を高める体験型事業の実施	未	新型コロナウイルス感染防止のため延期	
	図書館文化ｾﾐﾅｰ（児童）の開催	○	作家講演会　10月18日開催　40人	
	学校図書館支援事業	○	「ブックちゃん」「まなぶくん」	
	YAサービスの周知と充実	○	YAコーナー展示入替　随時、　新着リスト、広報チラシ発行	
	「調べる学習コンクール」継続開催	○	応募者数　10作品　入選　９人	
	苫教研学校図書館研究部会との連携	○	読書感想文、感想画など共催ほか	
	市内関連部署との連携	○	介護福祉課ほか	
	移動図書館車による市内保育園への団体貸出	○	随時実施	
	児童センター団体セット貸出	○	「ぐるりさん」	
	★自由研究のための図書館活用ガイドの作成・配布（再掲）	○	３月配布	
	★YA図書館交流事業	未	作家講演会開催予定	
3-2 社会で生きていくための知識・技術等の育成	図書館文化ｾﾐﾅｰ（一般）の開催	○	2回実施（6/13、8/29）	
	成人に向けた読書環境支援	―	具体的ニーズを調査中	
	コーナー図書室と連携	○	随時実施（定期連絡会・コーナー巡回ほか）	
	市内各施設との協働・連携事業	○	苫小牧駒澤大学など	

運営計画3における成果指標	指標算出方法	基準値（H29）	目標値（R2）	当年実績	達成率
児童貸出冊数（中央）	―	77,687件	78,412件	59,625件	76.04%
ブックちゃん貸出件数	―	142件	157件	107件	68.15%

自己評価

継続事業については、予定通り実施できましたが、各おはなし会、絵本作家講演会、調べる学習コンクールなどは、コロナの影響（臨時休館に伴う開催回数減、イベントへの人数制限、参加者の自粛傾向など）によりいずれも参加者数が大きく減少する結果となりました。成果指標としての目標値（児童貸出冊数、ブックちゃん貸出件数）についても大きく影響し未達成でした。さらに重点項目としてあげていたＹＡ図書館交流事業は、感染拡大に伴い、次年度への再延期せざるをえない状況となってしまいました。しかしながら今回、苫小牧駒澤大学と初めて共催講演会を実施いたしました。介護福祉課との協力事業「認知症フレンドリー図書館」については、新聞に取り上げられ、日本図書館協会からも事業紹介依頼があるなど注目されました。

運営計画４魅力的かつ効果的･効率的な運営体制の構築

事業名	具体内容	実施	取組状況	備考
4-1 効果的・効率的な図書館運営	業務改善の実施	○	随時　※業務改善研修2回実施	
	個人情報保護のための取組の継続	○	「個人情報監査（本社による）」「プライバシーマーク研修」の実施	
	利用者要望の把握と実現	○	サービスアンケート・ご意見箱投書ほかで随時対応	
	★webアンケートサービスの活用	未	開発が間に合わず次年度へ延期	
4-2 職員の知識・技術・能力の育成と継承	接遇の向上	○	随時、web研修実施	
	専門性の向上	○	館内でのweb研修実施	
	郷土に関する研修の実施	未	コロナ感染拡大に伴い未実施	
	危機管理に関する意識の共有と研修の実施	○	e-ラーニング（web研修）による研修実施	
	個人情報保護研修	○	「プライバシーマーク研修」の実施。	
4-3 図書館サービスの周知	図書館報・市広報・新聞を用いた情報発信	○	随時	
	インターネットを用いた情報発信の充実	○	随時	
	デジタルサイネージの活用	○	イベント情報、郷土関連展示などに使用	
	地域デジタルコンテンツの公開と充実	○	随時	
4-4 アウトリーチの促進	要望に応じた人材の派遣	未	コロナ感染拡大に伴い実施できず	
	障がい者サービスの周知	○	随時	
	移動図書館車を用いたアウトリーチサービス	○	保育園などへの団体貸出など。随時。	
	非来館型サービスとしての電子図書館の充実	○	幼児・児童・生徒向けコンテンツ763点大幅増。	9月完了

運営計画4における成果指標	指標算出方法	基準値（H29）	目標値（R2）	当年実績	達成率
司書派遣事業件数	―	11件	12件	4点	33.33%
利用者満足度	―	94.20%	94.3%	95.1%	100.85%

自己評価

4-2の「職員の知識・技術・能力の育成」については例年実施していた各種館外研修がコロナの影響によりほとんど開催見送りとなりました。館内研修としては7月「認知症サポート養成講座」を全スタッフに対して実施、8月は筑波大学名誉教授「植松貞夫氏」をお迎えし「図書館サービス研修」を行いました。ほかに各種web研修をスタッフの経験度に合わせ行うなど多岐にわたってスタッフの育成に務めました。今後の運営に効果がでるものと思います。「電子図書館の充実」は、6月に図書館システムとの連携版に変更、9月には幼児・児童・生徒向けコンテンツを約760点大幅に増やすなど利便性の向上、内容の充実をはかりました。その効果により利用率も大幅にupいたしました。重点項目としての「webアンケート」については開発・設計が年度内に、間に合わず次年度への持ち越しといたしました。

2020年度　単年度目標

単年度指標	内容	基準値（H29）	目標値（R2）	当年実績	達成率
新規利用登録者数	基準値増加率100.6%	2,277人	2,306人	950人	41.20%
入館者数	基準値増加率100.6%	309,377人	313,146人	230,092人	73.48%
貸出人数	基準値増加率100.5%	92,006人	92,944人	71,714人	77.16%
貸出冊数	基準値増加率100.5%	451,748冊	456,329冊	365,857冊	80.17%

自己評価

いずれの数値も目標値に対して大きく未達成となりました。通年で新型コロナウイルス感染拡大の影響（4月、5月の臨時休館、おはなし会ほかのイベント開催自粛、利用者の来館自粛など）が大きかった１年間でした。しかしながら年度下半期（9月以降）については入館者数、貸出人数、貸出冊数、ともに上向き傾向となっておりました。さらに貸出冊数は目標値には達しませんでしたが前年度対比で90%近くまで戻ってきており、利用者の読書意欲の復活（コロナによる巣篭もり需要も背景にあるかと推測）とともに図書館として年度後半、各種館内展示に力を入れた効果がでたものと考えております。

令和2年度年度総合評価

令和２年度は、コロナの終息の目途もたたない中、全サービスの数値が大きく減少する結果になってしまいました。年度当初から臨時休館があり、再開館後も来館者へマスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスの推奨、館内での長時間滞在の自粛要請、館内各所に手指消毒液、飛沫防止用シートの設置、定期的な換気のため窓開け、すべての返却本の消毒、スタッフもマスク、ビニール手袋の着用して対応するなど例年とは大きく違う運営となりました。予定していた各種事業、イベントも延期・中止せざるをえないものも発生いたしました。そのような中で非来館者サービスでもある「電子図書館」の利用率（閲覧数、前年比353%）が大幅に増え、6月に実施したシステム変更が大きく寄与いたしました。さらに10月に追加導入した「書籍除菌機」12月から稼働開始した「自動貸出機」もたくさんの方に利用されています。年度末（3月）には、懸案であった「トイレのウォシュレット化」「講堂の床カーペット張替」環境整備が出来ました。

３．2021（令和3）年度　事業計画

（１）単年度実施計画（概要）

運営計画１　基礎的な図書館サービスの充実

運営計画	実施年度	具体内容
資料・情報収集機能の充実	全期間	・資料収集基準に基づいた資料収集
		・特徴ある資料（大活字資料・洋書資料・映像資料など）の継続収集と充実
		・郷土・行政資料の継続収集と充実
		・電子書籍をはじめとした電子資料の収集と充実
資料・情報提供機能の充実	全期間	・参考郷土資料室の活用と周知
		・レファレンスサービスの周知と充実
		・電子書籍をはじめとした電子資料の提供周知
資料・情報保存機能の充実	全期間	・資料の適切な管理と保存
		・TRC-ADEACを活用したデジタルコンテンツの活用
		・電子図書館による地域資料の作成と活用
図書館という空間の魅力向上	全期間	・利用ニーズの把握及び運営への反映
		・乳幼児・保護者の為の環境整備
		・障がい者のための環境整備
		・高齢者のための環境整備
		・フリースペースとしてのリラックススペースの活用
		・外国語版利用案内の配布
	2021	・子育て世代への利用配慮（子育てタイムの実施）※新型コロナウイルスの影響により2019年度より延期

運営計画２　家庭生活および職業上の課題や地域課題解決のための支援機能の強化

運営計画	実施年度	具体内容
課題解決支援	全期間	・レファレンスサービスの周知と充実（再掲）
		・ICTを用いた情報入手の周知
		・パスファインダーの作成と配布
		・レファレンス技能の向上
		・ICT活用講座の継続開講とその拡充
		・時節にあわせたテーマ展示（一般・児童・参考郷土）
		・他市図書館との交換展示
	2021	・医療サービス支援としての「市民のための医学講座」コーナーの充実
		・ビジネスコーナーの充実と活用
		・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催
地域の結びつきの再生に向けた支援	全期間	・市民協働・外部連携の促進
		・市内ボランティア団体との連携
		・ボランティア養成講座の開催
		・既存ボランティア（団体・個人）の活動支援
		・図書館文化セミナー（郷土）の開催
		・市民協働事業の推進
	2021	・ボードゲーム活用による交流の場の創出 ※新型コロナウイルスの影響により2019年度より延期

運営計画３　教育的役割を重視した取組の推進

運営計画	実施年度	具体内容
子どもの読書活動の推進	全期間	・乳幼児コーナーの充実
		・「赤ちゃん絵本のとびら」事業への協力と連携
		・「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」の開催
		・読書への関心を高める体験型事業の実施
		・図書館文化セミナー（児童）の開催
		・学校図書館支援事業
		・ヤングアダルト（YA・10代利用者）サービスの周知と充実
		・「苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール」の継続開催
		・苫教研学校図書館研究部会との連携
		・市内関連部署との連携
		・移動図書館車による市内保育園への団体貸出
		・児童センター団体セット貸出「ぐるりさん」の充実
	2021	・YA図書館交流事業　※新型コロナウイルスの影響により2019年度より延期
		・YA世代間の情報・交流コーナーの設置
社会で生きていくための知識・技術などの育成	全期間	・図書館文化セミナー（一般）の開催
		・成人に向けた読書環境支援
		・コーナー図書室と連携した全域サービスの展開
		・市内各施設との協働・連携事業の開催
	2021	・セカンドライフ支援としての図書館活用ガイダンスの開催（再掲）

運営計画４　魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

運営計画	実施年度	具体内容
効果的・効率的な図書館運営	全期間	・業務改善の実施
		・個人情報保護のための取組の継続
		・利用者要望の把握とその実現
	2021	webアンケートサービスの活用 ※設営構築のため2020年度より延期
職員の知識・技術・能力の育成と継承	全期間	・待遇の向上
		・専門性の向上
		・郷土に関する研修の実施
		・危機管理に関する意識の共有と研修の実施
		・個人情報保護研修
図書館サービスの周知	全期間	・図書館報・市広報・新聞等を用いた情報発信の充実
		・インターネットを用いた情報発信の充実
		・デジタルサイネージの活用
		・地域デジタルコンテンツの公開と充実
	2021	・SNS発信コーナーの創出
アウトリーチの推進	全期間	・要望に応じた人材の派遣（司書・図書館ボランティア、市内よみきかせ団体などへの依頼対応）
		・障がい者サービスの周知
		・移動図書館車を用いたアウトリーチサービス
		・非来館型サービスとしての電子図書館の充実と利用促進

（２）2021（令和3）年度 事業一覧

＜運営計画１　関連事業＞			
No.	事　業　名	開催日程	内　容　等
1	映像資料の館外貸出	通年	貸出許諾済み映像資料の館外貸出事業
2	郷土情報に関する情報発信	年1回	苫小牧ゆかりの事象・事物について、資料情報等を交え、HP・電子図書館などで広く紹介
3	定例上映会「図書館ミニシアター」	第2・4日曜日	図書館所蔵の上映許諾資料の無料上映会
4	シネママラソン	年2回	終日上映会を実施し、夜間の利用促進及び映像資料活用のための映画上映会
5	サピエによる情報提供事業	通期	視覚障がい者及び弱視者、高齢者を対象に、展示・音訳データの提供を通じ、公平な読書環境の整備を図るもの。
6	こそだてtime	通期	毎週木曜日10時～12時に館内に音楽を流し、乳幼児・児童をお持ちの保護者が気兼ねなく来館できる環境を整える
＜運営計画２　関連事業＞			
No.	事　業　名	開催日程	内　容　等
7	ICT活用講座	11月	初心者向けipad活用講座（電子図書館PR）
8	パスファインダーの運用	年２回	年度内2テーマの作成
9	おはなし玉手箱	未定	市内読み聞かせサークルによる児童・一般向けの読み聞かせ事業。実施内容を再検討した上で実施。
10	講演会（郷土）	未定	郷土史に関する市民向け講演会事業
11	市民のための医学講座	未定	市民病院、王子総合病院との共催事業
12	郷土情報に関するHP情報発信（再掲）	年1回	苫小牧ゆかりの事象・事物について、資料情報等を交え、HP・電子図書館などで広く紹介
13	朗読とギターの夕べ	7月または8月	ギター演奏と朗読の鑑賞事業（アートフェスティバル）
14	本のばくりっこ市	7月31日	図書館不要資料と参加者持込図書の交換会（アートフェスティバル）
15	ボランティア養成講座	３月	図書館での活動を希望する個人に対する事前講習会。
16	ボランティア意見交換会	未定	ボランティア団体、個人との情報共有、情報交換を行う。
17	ボランティア研修会	未定	個人ボランティア向けスキルアップ講習会。
18	朗読研修会	9月	朗読ボランティア向け技術講習会。
19	ボードゲーム	未定	ボードゲームツールを活用し、若年層から高齢者層までの幅広い世代の交流の場を創出する
20	シニア世代のための図書館活用ガイダンスツアー	未定	図書館の利用・活用方法の講座

資料２

＜運営計画３　関連事業＞			
No.	事　業　名	開催日程	内　容　等
21	子どもの読書週間行事	4月23日~5月12日	おはなし広場（児童対象のおはなし会事業）・ブラインドブックの実施
22	赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば	年度内10回	「赤ちゃん、絵本のとびら事業」タイアップ事業 乳幼児・保護者向けのよみきかせ・絵本配布等
23	青空子どもとしょかん	8月	ボランティア協力の元で開催する野外読み聞かせ事業
24	原画展	未定	図書館内で行う絵本原画の借用展示
25	夏休み読書感想文コンクール	7月募集 10月表彰式	市内児童・生徒による感想文、感想画の募集、及び優秀作品の選出、表彰、文集発行
26	夏休み読書感想画コンクール		
27	冬休み読書感想文コンクール	12月募集/3月表彰	
28	読書感想文集発行	３月	
29	調べる学習コンクール	7月	学校へのコンクール開催案内を行い、夏季休暇期間の自由研究活動への図書館資料の活用講座などを実施し、コンクールへの参加を促す。
30	平和記念旬間行事	８月	平和記念アニメ上映会、戦争・平和関連の児童・一般向け作品の上映、資料展示を実施
31	講演会（児童・保護者向け）	未定	児童と保護者を対象とした講演会事業
32	講演会（一般）	未定	文学、図書館ほか一般向けテーマを設けた講座
33	秋の読書週間行事	10/27~11/9	年代別の本の福袋を実施
34	小・中学生俳句入賞作品展	12月	市民文化祭入賞作品展示
35	苫小牧地区小・中学校学級新聞コンクール	11月	学級新聞コンクール入賞作品の展示
36	苫小牧川柳社作品展	1月	市民文化祭入賞作品及び会員制作作品の展示
37	図書館見学ツアー	未定	館内を巡る図書館利用ガイダンスツアー
38	製本講習	10月	製本・修理に関する講座事業
39	一日司書	7月・11月	小学生対象の公募型職場体験
40	苫小牧子どものための選定図書の選定	５月	「苫小牧子どものための選定図書」リスト作成のための選定会議
41	施設見学（小学校）の受け入れ	随時	小学校の施設見学を受け入れ、施設の案内等を行う
42	職業体験生（中学校・高等学校）の受け入れ	随時	職業体験生を（中学校・高等学校）を受け入れ、図書館業務の体験をさせる
43	図書館実習生（短期大学・大学）の受け入れ	随時	職業体験生を（短期大学・大学）を受け入れ、図書館業務の実習をさせる
44	図書委員交流会研修の協力	7月・11月	図書委員対象の職場体験事業
45	学校図書館ボランティア研修会	1月	学校図書館ボランティア、及び担当教職員対象のスキルアップ講習会

46	学校図書館支援事業「まなぶくん」	随時	総合的な学習活動や調べ学習体験の場の提供と資料提供、学校図書館整備に関する協力
47	小学校・調べ学習授業、専門学校授業等への司書の協力	随時	各学校に出向し、要望に添ったカリキュラムを実施
48	学校用貸出セット「ブックちゃん」事業	随時	小学校への読書活動の支援
49	児童館用貸出セット「ぐるりさん」事業	随時	児童館への読書活動の支援
50	苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会との協力・連携（研修会の協力、共済事業の実施）	未定	共催事業の講演会、事前研修会等の実施
51	ぶっく・のーと配付事業	年2回	児童向け、記入式の読書記録手帳の作成・配付
52	ひとはこ図書館	6月・9月・11月	小さな箱を図書館に見立てて、小学生・中高生・一般の方が館長になる体験型事業
53	ビブリオバトル	7月31日	一般参加者による本の読書会(「知的書評合戦」)
54	ＹＡ世代交流事業	通期	中学生・高校生を対象にＹＡボランティアを募集。図書館で各種活動を支援。
55	カプセルトイくじ引き	８・１２・３月	長期休みに合わせ、カプセルイベント機でくじ引きを楽しみながら読書促進を図る。
56	みんなで、うち読！	11月	１１月「うち読」月間に合わせ、読書促進を図る。
57	本の手帖配布事業	年1回	一般向け、記入式の読書記録手帳の作成・配付
58	雑誌リサイクル市	3月	除籍雑誌の無償配布事業
＜運営計画4　関連事業＞			
No.	事　業　名	開催日程	内　容　等
59	バリアフリー映画の上映会	9月	視覚障がい者向けの字幕・音声ガイダンス入り映画作品の上映会
60	よみきかせマップ　配布事業	通期	市内よみきかせ団体の活動を網羅したマップを改訂、配布する。
61	電子図書館PR事業	4/23～5/12	こどもの読書週間でPRチラシを配布する

令和３年度　重点事業			
No.	事　業　名	運営計画	内　容　等
1	YA図書館交流事業	運営計画３	YA世代の図書館利用促進のため、学校図書委員などと連携した取り組みを実施する。※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2019年度より延期した事業
2	子育て支援事業	運営計画１	「子育てタイム」の実施。日時・場所を限定して幼児がいる保護者の方が気兼ねなく来館できる環境を整える。※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2019年度より延期した事業
3	「交流の場」創出事業	運営計画２	ボードゲームツールを活用し、若年層から高齢者層まで幅広い年代の方たちの交流の場として図書館利用を促進する。※新型コロナウイルス感染拡大の影響により2019年度より延期した事業
4	医療サービス支援事業	運営計画２	市民のための医学情報コーナーの設置。医療情報の支援を行うため、テーマを決めて展示を行う。
5	ビジネス支援事業	運営計画２	ビジネス支援コーナーの設置。ビジネス世代への支援を行うため、テーマを決めて展示を行う。
6	セカンドライフ支援事業	運営計画２、３	シニア世代のための図書館活用ガイダンスの開催。図書館の利用・活用方法の講座を開催し、利用促進を行う。
7	SNSでの情報発信事業	運営計画４	Twitterの開設。図書館独自のTwitterを新たに開設し、利用促進のPRを図る。